



## 水の事故に注意！

### 水難事故の半数は死亡・行方不明に

令和3年（2021年）に全国で発生した水難事故は1,395件、被災者は1,625人になります。その中で約半数である744人（約46%）が死亡・行方不明になりました。また、死亡・行方不明者の34%は河川で起こっており、特に中学生以下の死亡・行方不明者の58.1%は河川で事故にあっています。

楽しいレジャーや水遊びも、少しのきっかけで命に関わる事故につながる可能性がありますので、十分に注意しましょう。

参考：政府広報オンライン「水の事故、山の事故を防いで 海、川、山を安全に楽しむために」

### 水の事故を防ぐポイント

#### ●訪れる場所の周辺の天気まで確認

訪れる場所が晴れていても、その河川の上流側で前日に雨が降っていたなどで、みるみる水量が増えてしまったり、鉄砲水がやってきたりします。また、雨が降った数日後まで河川の水が増えていることがあります。天気は数日前の河川周辺の地域（特に河川上流）の天気も見るようにしましょう。

#### ●体調が優れない、飲酒した状態で水辺に近づかない

体調が優れなかったり、飲酒した状態は、判断力や体の感覚が鈍っています。「涼みたい」「自分は大丈夫」というちょっとした気持ちの緩みで川に近づくと、通常時のように体が動かず命を落とす危険性があります。また、飲酒したら絶対に川に入らないように周りの方も注意することが大切です。



#### ●子供から目を離さない

子供は特に水遊びに夢中になり、どんどん深い方へ入って行ってしまいます。子どもからは絶対に目を離さず、手の届く範囲で遊ばしましょう。

#### ●ライフジャケット・スニーカーを着用する

膝くらいの水位でも、転んだりすると、手をつけずに顔を挙げられず溺れる可能性があります。どんなに浅い水深でも川に入る時は必ずライフジャケットを着用しましょう。また、川遊びにはサンダルを履く印象があるかと思いますが、スニーカーの方が、川の流れて脱げにくく、石やガラスの破片などから足を守ってくれます。



### 全国の水難事故マップ

常陸大宮市に流れる久慈川・那珂川だけでなく、日本全国で過去にどのような事故が起きているかを知ることができる「全国の水難事故マップ」という便利なサイトがあります。海や川に出かけるときにぜひご活用ください。



▲全国の水難事故マップ